

令和3年第418回信濃町議会定例会2月第2回会議会議録（3日目）

（令和3年2月18日 午後2時50分）

●議長（森山木の実） 会議を再開します。

通告の5、片野良之議員。

1 地域内の公共交通、特にデマンドの利便性の向上は進んでいるのか

なお、資料配布を求められましたのでこれを許可し、お手元に配布済みであります。
議席番号2番・片野良之議員。

◆2番（片野良之） 議席番号2番・片野良之です。公共交通の利便性の向上は進んでいるかということで、デマンドだけではないのですが、デマンドを中心に伺いたと思います。まずデマンドにおいて一般質問でも質問し、提案なども行ってまいりました。立ち寄り箇所が平成30年10月から古間の地域交流施設や富士里のふれあい広場、富士里支館が追加されたことは高く評価したいと思っています。ところで妙高高原駅、それから古間駅、地域交流施設、富士里支館、ふれあい広場について疑問がありますので伺いたと思います。以前住民の方から聞いたのですが、それぞれの施設に行きたかったが、その方面に住んでいないため、予約を受けてもらえなかったという相談がいくつもありました。確認してみると、確かにふれあいコスモス号の利用方法にそのような記載がありました。これがまず配っていただいた紙の2枚目になります。③のところですね。古海、菅川、熊坂、赤川地区の方は、妙高高原も利用できます。荒瀬原、船岳、戸草、柴津、水穴地区の方は古間駅も利用できます。というふうに4つの場所が箇条書きに書いてあるのですが、それぞれの場所に住む人でないと使えないというインフォメーションになっているのです。これはどうなんだろう、ちょっとおかしいのではないかと私は思うのですが利用したい先と住んでいる地域で縛りを設けるといのが、私はどうにも引っかかってしょうがないのですが、こんなことについて町側ではどういうふうに考えていらっしゃるか、まずお考えをお聞きしたいと思います。

●議長（森山木の実） 横川町長。

■町長（横川正知） 片野議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。ご案内のように信濃町の公共交通につきましては、信濃町の地域公共交通協議会、この中でそれぞれ色々な不具合といいますか問題点を整理をしていただきながら、使いやすい利便性の向上に向けてのそれぞれの協議を重ねていただいて今に至っているというふうに思います。今の個別のご質問についてはですね、商観の課長の方から答弁申し上げますが、今年度、令和3年度の新年度予算でも予算計上させていただいてございます。これは国の方の法律改正も含めてですね、地域公共交通計画の見直しと言いますか、策定を令和3年度やらなければいけないということになっているわけでございまして、関係予算約400万円ほど計上させていただいてあるということでございます。今後の中でも、しっかりと利用しやすいと言いますか、そういうシステムでなければいけないわけでありま

令和3年第418回信濃町議会定例会2月第2回会議会議録(3日目)

すので、可能な限り様々な条件をクリアできるものはクリアしながらですね、使い勝手のいい公共交通システムという構築が最も大事だろうというふうに思っています。そんな意味では、今後も様々な意見を反映させていただきながら対応していくことが大事だろうというふうに思います。今ほどご質問の個別の事項につきましては課長から答弁させていただきます。

●議長(森山木の実) 丸山産業観光課長。

■産業観光課長(丸山茂幸) はい、デマンド交通のデマンドタクシーふれあいコスモス号の利用につきましては、まず初めに現在の運行状況等ご説明申し上げます。町中行き、また町中から自宅へ帰る便、両方合わせて4便とこちらの資料に書いてありますが、両方合わせて8便です。ただ、各便6台のバスを利用してやっておりますので、延べで1日30便走っているという形になっております。30便を利用して頂いているという状況ですが、1日の平均利用人数が単純に割ると43.7人、約44の方が1日平均利用していただいていると。30便を44の方が利用しているという状況です。この資料の※印で書いてあるところにつきましては、当初から地域公共交通協議会の中での計画の状況を伝える中で、利用場所を増やしていった状況で増えてきたというところなのですが、お住まいになっている地域で利用できる駅が別れているということは、私の方もこれを追加した時の資料がなくて分からなくて申し訳ございませんが、各地域で一番利用しやすい公共施設、駅の方を追加していった何だという形で捉えております。

●議長(森山木の実) 片野議員。

◆2番(片野良之) このデマンドの計画にしても、協議会の方がメインだと私も思いますので、課長たちが問題があるとか、全くそんなふうには思っておりません。ただですね、今、私が伺いたかったことは、例えば自宅から町中に来る便で駅や施設を回ります、そして町中から自宅へ帰る時も同じようなコースを辿るはずで、そこでそちらに帰る方ではなくて、そちらに行きたい方、例えばふれあい広場であったり、そういった方々が利用を申し込んだんだけど、そっちに住んでいないからという理由で断られたという相談を私がいくつか受けているのです。これはおかしい話ではないかと思うのですが、予約センターに連絡を入れて確認するわけにもいきませんので、そこまではやっていないのですが、もしそういう形があるとすれば、どうなのでしょう、私はすごく設定自体がおかしいと思ってしまうのです。そして今回、来年の令和3年度の予算書の中に、その協議会に対する400万円、先ほど町長の方でもお答えになっていましたが、これから計画を練るにあたり、これはコンサルを使うのではないかと私は思って見ていたのですが、本当にそれが実効性のあるきちんとした住民要求に応えられるようなものを作れるんだろうかと非常に疑問を抱いています。コンサルが悪いというわけではないのですが、住民からの声、これをもっと広く集めてそのことに対してきちんとした協議を行うのが、私は協議会の本来あるべき姿ではないかと思うのですが、その辺もう一度改めて伺いますが、町の方ではその協議会に対してきちんとした、きちんとしたと言ったら語弊があるかもしれませんが、住民の声を身近に聞きとる、それを反映させるという

令和3年第418回信濃町議会定例会2月第2回会議会議録（3日目）

ような動きを求めているのかどうかお伺いします。

●議長（森山木の実） 丸山産業観光課長。

■産業観光課長（丸山茂幸） はい、前段のデマンドバスのお住まいになられている方の住んでいるところで利用できない、範囲が限られてしまうという部分につきましての状況をお伝えさせていただければと思います。現在、デマンドバス6台で、その6台ごとに野尻地区、柏原地区、富士里地区、古間地区、そちらの方面で割り振って2つの事業者様にバスで運行していただいています。1日30便を延べで動かしていただいているのですが、その運転手の皆様は、路線バスの運行をしつつ、またデマンドをする。また、デマンドをやりながら公共バスを運転すると。なかなか今の人数では厳しい部分があると同っています。それから、町の地域公共交通協議会の話でございます。今お話いただきましたように、令和3年度の当初予算に、令和4年度からの新しい町の地域公共交通計画の策定のための調査費用と言うことで載せさせていただいております。この調査につきましても、調査内容につきましては信濃町公共交通協議会の中で揉んでいってもらうという部分もあります。信濃町の地域公共交通協議会につきましては、2年任期で今32名の委員さんを任命させていただいております。職種は協議会の規約に基づいて32名の方が委員になっていただいておりますが、公共交通事業者様また各区の区長様、それから警察の方、道路管理者の方、学識経験者の方から構成していただいております。新しい公共交通計画につきましては、令和2年の11月に法が改正されたことに基づいて、今の公共交通網形成計画よりもっと突っ込んだ幅広い計画を作ることが可能ということですので、また、法律的には努力義務になっておりますが、町の今の公共交通システム自体が本当の需要にあったものとは、段々とかけ離れてきてしまっているということ、事務局の方も認識してございますので、また新たに計画の中では色々議員さんのお話を伺いながら検討させていただけたらなと思っております。

●議長（森山木の実） 片野議員。

◆2番（片野良之） 私も前職でふれあいコスモス号の運転手をやっておりましたので、内容はそれなりに分かるつもりでおります。ただ今の課長の方でもおっしゃっていましたが、どうしても現状と今のやり方と少しずれてきているということは事務局の方でも掴んでいると思いますので、是非、本当に利用している住民の方の声を生かしてやっていただくように協議会の方にも働きかけていただきたいと思います。次にチケットに関する話になります。配布していただいた資料の3枚目のものですね。これが今現行で使われているもののコピーになるのですけれども、以前と比べると非常に使いやすくなってきていると思っております。ただ、記載内容に対して利用者の方から寄せられた声をちょっと紹介したいと思います。「自宅から予約する時は電話番号を電話機のところに貼っているので問題ないけれど、出先から帰る時に電話番号が記載されていなくて使いづらい。チケット綴りの使わないところに番号が刷ってあると助かるのだけれど」という声、同じような内容の話もいくつもあります。先月も同じような内容の話がありまして、担当課にちょっと提案をしてみたのですが、すでに来季のチケットの校正に入って

令和3年第418回信濃町議会定例会2月第2回会議会議録（3日目）

いるので今回は間に合わないかもしれないと言うふうに答えられました。実際、話を持ち込んだのが遅かったと思いますので、今回はやむを得なかもしれないのですが、来年度と言わず再来年度になってしまうのですが、来季のチケットを作成する時、こういった利用者の声を是非反映させていただきたいのですが、いかがでしょうか。

●議長（森山木の実） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤豊） はい、ただ今片野議員さんの方からおっしゃった電話番号ですね、おそらく受付センターの電話番号を入れるのだと思いますけれども、今回は申し訳ないのですが印刷をかけていますので間に合わなかったのですが、今回は入れたいと思います。それで、もしそのようなお声を聞きましたら、当課の方へお繋ぎいただければ対応できることは対応してまいりたいと、使いやすいチケットにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。

●議長（森山木の実） 片野議員。

◆2番（片野良之） 是非とも、再来年になってしまうのですが、そのようにしていただきたいと思ひます。また私の方でも住民の方からそういったリクエスト、要望そういったものが入ってきましたらスムーズにお繋ぎするようにしますので、是非ともより良いものにしていくように支えあっていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。それでですね、予約に関する質問になります。現在月曜日の朝一便、これは前の週の最終営業日の午後3時半までに予約をしないと予約を取ることができません。病院のように前もってひと月前から予約が決まっているとか、そういった内容であれば前もっての予約は可能だと思うのですが、週末の間に、例えば土日に突然、月曜日にデマンド等を使って先方に行かなくてはいけない必要が生じた場合、予約が取れないのですね。この問題は以前から言われていたと思うのですが、これを今、どのように改善を図っているのか、もしやっしていればお伺ひしたいと思います。

●議長（森山木の実） 丸山産業観光課長。

■産業観光課長（丸山茂幸） はい、月曜日の一便の予約につきましては、おっしゃるとおり前の週の営業時間までにとすることで、毎曜日の朝の第一便も同じように前の日の3時半までに予約をしていただきたいというルールで今進んできてございます。状況を初めにお伝えします。デマンドコスモス号の受付の業務につきましては、現在受付センターは路線バスの運行事業者と同じ敷地内で3名の職員を雇用させていただいて毎月2名の出勤で交代制で月曜日から金曜日の土日祝日を抜いた時間を開設してございます。受付方法につきましてはおっしゃるとおり朝の一便を除く以外につきましては10時移行、出発便については、出発する30分前に受付してほしいということで進んできています。実際に今、利用、登録されている方は町内に2006名ほどいらっしゃるのですが、ほとんどの方が高齢の方でいらっしゃいます。受付をするときによく確認をさせていただいて、受付したものを受付システムに登録し各運転手が持っているタブレット

に飛ばすと、それでそちらのタブレットで確認できるというシステムです。再度確認するという意味でも、タブレット以外に紙に書いた受付表を運転手の皆さんによっては持っていかれるという方もいらっしゃるようです。で、その中でまた2つの事業者さんで運営していただいているのですが、もう1つの事業者さんは事務所が離れているものでして、インターネットの関係もあまり良くない状況でございまして、その部分についてはFAXと電話で予約の確認をさせていただくと。なおかつ、利用者の約58パーセントは信越病院を利用されていますので、その信越病院からのご案内についてはシルバー人材センター様をお願いしています。そちらの方へも電話で確認をさせていただくと。1日平均44人の方の取り次ぎを全部で30便なのですが、やるとなるとちょっと30分はかかってしまうというのが現状です。ただ昨年短縮できないかということで、試験的にやったのですが、どうしてもやはり25分はかかってしまうということと、改善方法としては今の受付システム自体をネットのシステムなのですが、地図情報には載っているのですが、GPSの様に案内ができない。受付した運転手さんは自分でコースを設定してそれで自分で回って行かなければいけないという部分がちょっとネックになっているところがありますので、そこまで改善したシステムがあれば、議員がおっしゃっていただきましたように改善ができていくのかなというふうに事務局では考えています。

●議長(森山木の実) 片野議員。

◆2番(片野良之) そうですね、今課長がおっしゃったとおり、地図上では分かるのですがどういうルートで組み立てたら一番効率がいいのかというのは運転手がタブレットに飛んできた情報を見ながら即座に判断してコースを設定して、運転していましたので色々な意味での縛りと言いますか、障害は大きいとは思いますが。ただですね、いつまでも今のままというわけにはいかないと思います。これからこの町も更に高齢化が進んできて、若い方々が少なくなっていく状況が予想されています。是非、そういった部分でのことも考えながら、今特に朝の自宅の方から町行きというのは本当に迎えに行くのに20分、30分、そしてその前にその車の安全に運行できるかどうかのチェック、そういった作業を含めれば1時間くらいかかってしまうかと思えます。今言うようにほかの業務をやりながらやるというのは、現場の運転手さんたち大変だと思っています。ですから余計にもっと前もって緩やかに受けられるようなシステムを、町の方で作っているわけではないのですが、このシステムを作ったところなどそういった更に発展したもの作っているのではないかと思いますので、そういったところも是非確認して導入の方に進んでいただければと思います。それから、例えば妙高高原病院や飯綱病院、これは自治体も違いますし、デマンドの今のシステムも法的な縛りでは送迎できないのは分かるのですが、やはり妙高の病院や飯綱病院、町内の方でも使ってる方はいらっしゃると思います。なんとかうまく、この飯綱町だったり妙高市だったり、そういったところのデマンドみたいなシステムとお互いにうまくやりやっして協力し合って、乗せ替えということも必要になってくるんじゃないかと思うのですが、そういった連携した取り組みというのは今まで検討されたことはあるのか教えてください。

令和3年第418回信濃町議会定例会2月第2回会議会議録(3日目)

●議長(森山木の実) 丸山産業観光課長。

■産業観光課長(丸山茂幸) はい、広域の公共交通の連携については検討したことはないという状況です。

●議長(森山木の実) 片野議員。

◆2番(片野良之) 難しいやり取りになると思いますので、それでもこれからそれぞれの自治体で同じような課題を抱えています。是非、お互いに協力できるところは協力し合って利便性を高めるような方向性も検討していただきたいと思います。それとはまたちょっと違うのですが、例えば路線バスであったり鉄道であったりそういった部分で、今飯綱病院を使っている方から相談されたことがあったのですが、ちょうど朝行くときには時間に間に合う便があるのだけれど、終わって帰りの便が何もないと。電車もなければバスもない、もうちょっと町からでも働きかけてもらって時間の融通性を便数を増やせないかということをおの方は言っていたのだと思うのですが、便数を増やせなくても時間帯をただ単なる設定ではなく、利用者が多くなるような設定の仕方を検討してもらえないかどうか、町から働きかけることはできないのか伺いたいと思います。

●議長(森山木の実) 丸山産業観光課長。

■産業観光課長(丸山茂幸) はい、路線バスの国道線という路線につきましては、信濃町から飯綱病院まで運行してございます。その状況なのですけれども、現在、路線バスということで、令和元年の実績ですが年間で3364人の方がこの路線を利用されております。全体の路線バスの内48パーセントがここを利用しているというような数字になっております。この路線につきましては、利用はかなり多いのですが、便数で申し上げますと黒姫高原、黒姫駅、飯綱病院とこの3つを中心として各停留所を回っているということで、行きといいますか飯綱病院へ向かう部分につきましては7便、帰りも6便というような形で運行していますが、実際にここを運転している事業者さんもやはり運行ダイヤの勤務表からここだけの運行だけではなくてほかにも運行もされているというような状況でございますので、ここの部分を新たにデマンドふれあいコスモス号でカバーするということは今ございませんが、全体の来年度に向けての調査の中で今実態についてはもう少し突っ込んだ実態を確認した中でまた検討材料の1つだと思っております。

●議長(森山木の実) 片野議員。

◆2番(片野良之) 是非ですね、実態に沿った状況を掴んでいただいて、検討を進めていただきたいと思います。それに伴ってなのですが、既存のバスのコース、そういったもので賄えないようなところを賄うのがデマンドのふれあいコスモス号の役割だと思っておりますけれども、それが色々な制約がある中でどうしてもできない、そうい

令和3年第418回信濃町議会定例会2月第2回会議会議録(3日目)

った部分では有償移送のボランティア、こういったものをうまく活用する方法も町の方ではもっと取り組んでいただきたいのですが、その辺は今検討はどのようにされているのかを教えてください。

●議長(森山木の実) 丸山産業観光課長。

■産業観光課長(丸山茂幸) 町の今の地域公共交通網形成計画の中では、具体的には示してはございません。今度新しく作る地域公共交通計画につきましては色々検討していかなければいけない課題は、事務局の方でも挙げてございまして、そのひとつとして町の地域福祉計画に関連したその計画と関連づけて計画を立てていかなければいけないというふうには考えております。

●議長(森山木の実) 片野議員。

◆2番(片野良之) ではですね、ボランティアの育成や支援、認可なども含めて町もこれからもっと本格的にそういったところに目を向けて住民福祉の向上に全力で取り組んでいただきたいと願い、またそういう案を提案しまして私の今回の一般質問を終わりとします。

●議長(森山木の実) 以上で片野良之議員の一般質問を終わります。

お諮りいたします。本日の会議はこの程度にとどめ、延会としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「なし。」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって本日はこれで延会とすることに決定いたしました。念のため申し上げます。19日の本会議、一般質問は午前9時45分からの開会となりますので、時間までにご出席下さい。お疲れ様でした。

(午後3時21分 終了)